

疾病治療学A

必修

開講年次：2年次前期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念を述べ、各臓器・器官がどのような病態となって疾病へと移行して要治療となるのかを学習する。ここでは、呼吸器疾患、循環器疾患、代謝・内分泌疾患について学習する。

■**到達目標**：各臓器・器官の機能のメカニズムと心身の相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を習得する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎甲谷 哲郎・秋江 研志・和田 典男 他

■授業計画・内容：

呼吸器疾患：肺・呼吸調節系の解剖・生理の知識を基に、症状の発現原因を学ぶとともに、看護を行う上で必要な各種呼吸器疾患の成因・病態・診断・治療法の知識を学習する。

第1回 呼吸器感染症
疾患の種類と病態及び治療法、スタンダードプレコーション
(対応する教科書の項目：感染症)

第2回 気道疾患・間質性肺炎
肺機能検査の基礎、気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患の診断と治療
(対応する教科書の項目：アレルギー性疾患の気管支喘息・閉塞性疾患)
間質性肺炎を起こす疾患、呼吸器疾患とアレルギー反応
(対応する教科書の項目：アレルギー性疾患・拘束性肺疾患)

第3回 呼吸不全及び呼吸調節・臨床腫瘍学
呼吸不全の種類と病態
(対応する教科書の項目：肺循環障害・換気異常)
臨床腫瘍学概論

第4回 腫瘍性疾患
肺癌、転移性肺腫瘍、喫煙の害について
(対応する教科書の項目：腫瘍・胸腔疾患)

第5回 胸腔疾患
縦隔疾患、気胸、悪性胸膜中皮腫
(対応する教科書の項目：胸腔疾患)

循環器疾患

第6回 先天性心疾患、虚血性心疾患
(教科書第1巻p414-440)

第7回 心膜疾患、心筋症 肺性心、肺塞栓症、心不全
(教科書第1巻p440-467)

第8回 感染性心内膜炎、弁膜症、ショック、心臓腫瘍
(教科書第1巻p468-504)

第9回 血圧異常、不整脈疾患
(教科書第1巻p504-530)

第10回 血管の疾患(教科書第1巻p530-539)

代謝・内分泌疾患：教科書第2巻第8章

第11回 内分泌疾患(1)

第12回 内分泌疾患(2)

第13回 代謝疾患(糖尿病)(1)

第14回 代謝疾患(糖尿病)(2)

第15回 代謝疾患(高脂血症他)

■**教科書**：『臨床病態学』第1・2巻／(ヌーヴェルヒロカワ)

■参考文献：

■**成績評価基準と方法**：試験(80%)、授業態度(20%)

評価方法	到達目標	評価基準	評価割合(%)
定期試験	◎	60%以上の正解をしていること	80
授業態度	○	積極的な姿勢	20
出席	◎	2/3以上の出席	欠格条件
その他			

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：講義をうける前に教科書の対応している部分を読んでおくこと。ある程度教科書の内容を理解していることを前提に授業を行う。